

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2015年3月17日から2025年3月7日までです。	
運用方針	米国バイオ&テクノロジー株マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、主として、米国の取引所に上場されているバイオテクノロジー、IT、テクノロジー、先端技術製品、サービステクノロジー等の各分野の企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	米国バイオ&テクノロジー株マザーファンド	米国の取引所上場株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には、制限を設けません。
	米国バイオ&テクノロジー株マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年4回、3月、6月、9月および12月の各月の9日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

運用報告書(全体版)

米国バイオ&テクノロジー株オープン

第15期（決算日 2018年12月10日）

第16期（決算日 2019年3月11日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「米国バイオ&テクノロジー株オープン」は、2019年3月11日に第16期決算を迎えましたので、過去6ヵ月間（第15期～第16期）の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社クライアント・サービス部へ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (円換算後)		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期騰落率	(参考指数)	期騰落率			
7期(2016年12月9日)	円 8,633	円 0	% 9.4	ポイント 256,672.13	% 15.0	% 91.1	% -	百万円 3,376
8期(2017年3月9日)	9,517	0	10.2	270,797.51	5.5	93.1	-	3,434
9期(2017年6月9日)	10,009	50	5.7	267,911.60	△ 1.1	90.4	-	3,056
10期(2017年9月11日)	9,991	0	△ 0.2	266,917.47	△ 0.4	91.2	-	2,579
11期(2017年12月11日)	10,035	650	6.9	301,342.98	12.9	93.7	-	2,412
12期(2018年3月9日)	10,041	550	5.5	292,330.27	△ 3.0	93.1	-	2,482
13期(2018年6月11日)	10,018	550	5.2	304,053.67	4.0	93.5	-	2,501
14期(2018年9月10日)	10,025	500	5.1	318,555.46	4.8	84.8	-	3,402
15期(2018年12月10日)	9,126	0	△ 9.0	296,274.16	△ 7.0	90.7	-	13,150
16期(2019年3月11日)	9,709	0	6.4	304,343.62	2.7	91.3	-	16,476

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) S & P 500指数(円換算後)は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

S & P 500指数(円換算後)は、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて岡三アセットマネジメントが算出しています。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、株式組入比率および株式先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率=買建比率-売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

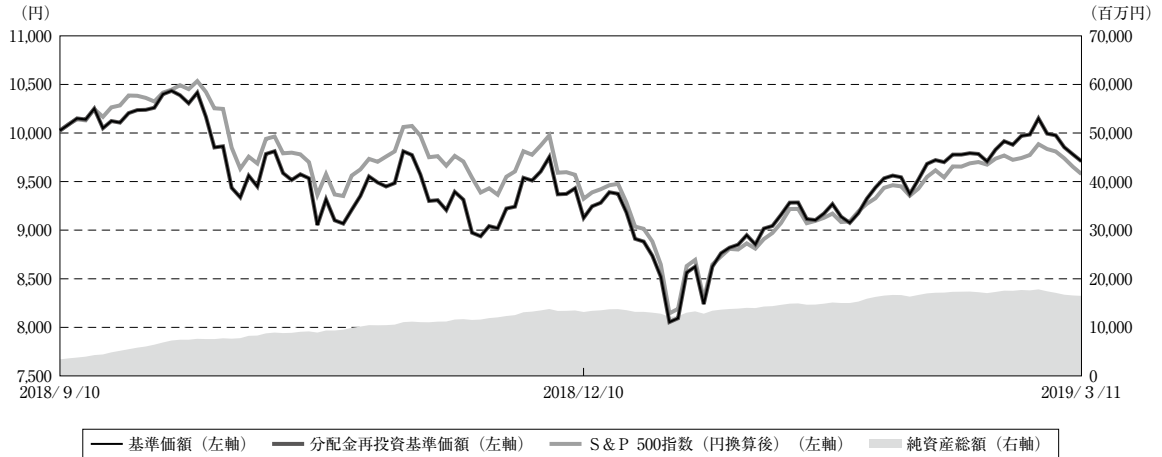
決算期	年 月 日	基準価額		S & P 500指数 (円換算後)		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第15期	(期首) 2018年9月10日	円 10,025	% -	ポイント 318,555.46	% -	% 84.8	% -
	9月末	10,400	3.7	330,942.98	3.9	88.4	-
	10月末	9,209	△8.1	303,834.67	△4.6	88.5	-
	11月末	9,511	△5.1	310,653.63	△2.5	92.2	-
	(期末) 2018年12月10日	9,126	△9.0	296,274.16	△7.0	90.7	-
第16期	(期首) 2018年12月10日	9,126	-	296,274.16	-	90.7	-
	12月末	8,624	△5.5	276,260.13	△6.8	88.9	-
	2019年1月末	9,176	0.5	292,127.21	△1.4	93.5	-
	2月末	9,970	9.2	309,591.17	4.5	91.9	-
	(期末) 2019年3月11日	9,709	6.4	304,343.62	2.7	91.3	-

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2018年9月11日～2019年3月11日)



第15期首：10,025円

第16期末：9,709円 (既払分配金 (税引前)：0円)

騰落率：△3.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、S & P 500指数 (円換算後) です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首 (2018年9月10日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○**基準価額の主な変動要因**

当ファンドの主要投資対象である「米国バイオ&テクノロジー株マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・ 5G（第5世代移動通信システム）関連への投資拡大から恩恵を受けるとの期待を背景に、半導体株の上昇がプラスに寄与しました。
- ・ 医療機器や医療管理システムに関わる企業の株価上昇がプラスに寄与しました。
- ・ 個別銘柄では、XILINX INCやMELLANOX TECHNOLOGIES LTD、VEEVA SYSTEMS INCなどの上昇がプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・ 業績の先行き不安が高まった娯楽ソフトウェア株やコンピュータ・周辺機器株の下落がマイナスに影響しました。
- ・ 個別銘柄では、ACTIVISION BLIZZARD INCやAPPLE INC、PURE STORAGE INCなどの下落がマイナスに影響しました。

投資環境

(2018年9月11日～2019年3月11日)

米国株式市場は、2018年9月から10月初旬にかけては主要指数が過去最高値を更新する展開となりました。しかし10月上旬から下旬にかけては米国の長期金利上昇に対する警戒感から下落に転じました。11月ともみ合って推移したものの、12月に入ってから、中国の通信機器大手企業の幹部逮捕を受けて、米中通商摩擦への懸念が高まったことなどから下落する展開となりました。2019年1月以降は、米連邦準備制度理事会（FRB）議長が柔軟な金融政策姿勢を示したことから投資家心理が改善し、作成期末にかけて反発する展開が続きました。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年9月11日～2019年3月11日)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の取引所に上場されているバイオテクノロジー、IT、テクノロジー、先端技術製品、サービステクノロジーなどの各分野の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資を行います。また、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドから、投資候補銘柄に関する投資助言を受けます。

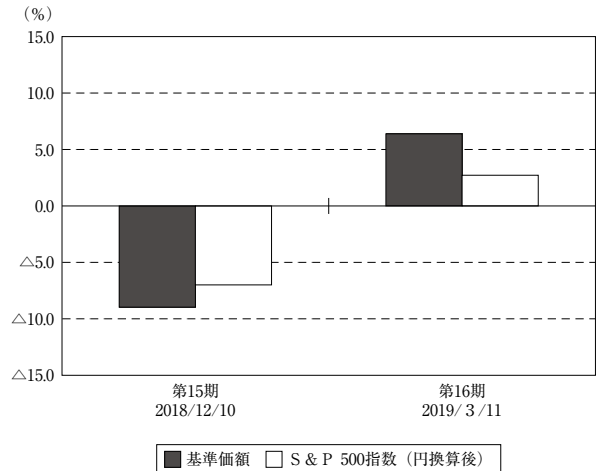
運用につきましては、バイオ関連株については遺伝子治療や細胞療法に関わる銘柄、テクノロジー関連株については5G関連の投資増加が業績改善につながると予想される銘柄への選別を強化しました。2018年10月から2019年1月上旬にかけては、軟調な展開が続くと予想されたことから、実質的な組入比率を概ね80%台後半に抑制する対応をとりました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年9月11日～2019年3月11日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当作成期における当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているS&P 500指数（円換算後）を1.3%上回りました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、S & P 500指数（円換算後）です。

分配金

(2018年9月11日～2019年3月11日)

当ファンドは、年4回、3月、6月、9月および12月の各月の9日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。

当作成期の分配につきましては、第15期、第16期とも見送りとさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行います。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第15期	第16期
	2018年9月11日～ 2018年12月10日	2018年12月11日～ 2019年3月11日
当期分配金	－	－
(対基準価額比率)	－%	－%
当期の収益	－	－
当期の収益以外	－	－
翌期繰越分配対象額	10	59

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨で算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境)

米国株式市場は、米中通商問題の動向や米国景気の先行き不透明感が材料視されることにより、目先は上値の重い展開になると予想されます。しかし一方で、米中通商協議を巡る警戒感が徐々に後退する中、FRBが中立的な金融政策を維持することにより景気回復を先取りする動きが次第に強まると考えられることから、中長期的には上昇基調が続くと予想されます。

(運用方針)

<米国バイオ&テクノロジー株オープン>

主要な投資対象である「米国バイオ&テクノロジー株マザーファンド」の組入れを高位に維持して運用する方針です。

○米国バイオ&テクノロジー株マザーファンド

アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドからの投資助言を参考に、投資環境や業績動向などを勘案して銘柄選別を行い、組入れを行います。テクノロジー関連株に関しては、5G（第5世代移動通信システム）関連への投資拡大から恩恵を受ける半導体株やソフトウェア株へのウェイト付けを行う方針です。バイオ関連株については、遺伝子治療や細胞療法の分野で強みを持つ企業へのウェイト付けを継続するほか、好業績が見込まれるヘルスケア機器株を買い付ける方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年9月11日～2019年3月11日)

項 目	第15期～第16期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	84 (51) (31) (3)	0.889 (0.539) (0.323) (0.027)	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	7 (7)	0.072 (0.072)	(b) 売買委託手数料＝作成期間中の売買委託手数料÷作成期間中の平均 受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝作成期間中の有価証券取引税÷作成期間中の平均 受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	2 (1) (1) (0)	0.020 (0.013) (0.006) (0.000)	(d) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資 金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	93	0.981	
作成期間中の平均基準価額は、9,481円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年9月11日～2019年3月11日)

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第 15 期 ～ 第 16 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
米国バイオ&テクノロジー株マザーファンド	千口 9,752,968	千円 13,220,000	千口 836,854	千円 1,200,000

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2018年9月11日～2019年3月11日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第 15 期 ～ 第 16 期
	米国バイオ&テクノロジー株マザーファンド
(a) 当 作 成 期 中 の 株 式 売 買 金 額	16,919,945千円
(b) 当 作 成 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	11,563,033千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	1.46

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2018年9月11日～2019年3月11日)

利害関係人との取引状況

<米国バイオ&テクノロジー株オープン>
該当事項はございません。

<米国バイオ&テクノロジー株マザーファンド>

区 分	第 15 期 ～ 第 16 期			第 16 期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株 式	百万円 14,516	百万円 3,390	% 23.4	百万円 2,403	百万円 545	% 22.7

平均保有割合100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	第 15 期 ~ 第 16 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額(A)	9,267千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額(B)	2,632千円
(B) / (A)	28.4%

(注) 売買委託手数料総額は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはOKASAN SECURITIES TOKYO/JAPANです。

○組入資産の明細

(2019年3月11日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第 14 期 末	第 16 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
米国バイオ&テクノロジー株マザーファンド	千口 2,299,727	千口 11,215,841	千円 15,505,900

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年3月11日現在)

項 目	第 16 期 末	
	評 価 額	比 率
米 国 バイ オ & テ ク ノ ロ ジ ー 株 マ ザ ー フ ェ ン ド	千円 15,505,900	% 92.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,218,029	7.3
投 資 信 託 財 産 総 額	16,723,929	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 米国バイオ&テクノロジー株マザーファンドにおいて、作成期間末における外貨建純資産（15,177,584千円）の投資信託財産総額（15,590,086千円）に対する比率は97.4%です。

(注) 外貨建資産は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=110.95円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第15期末	第16期末
	2018年12月10日現在	2019年3月11日現在
	円	円
(A) 資産	13,192,867,457	16,723,929,600
コール・ローン等	428,490,767	1,218,028,759
米国バイオ&テクノロジー株マザーファンド(評価額)	12,764,376,690	15,505,900,841
(B) 負債	42,269,771	247,179,620
未払解約金	1,433,825	179,674,638
未払信託報酬	40,537,195	67,011,512
未払利息	880	511
その他未払費用	297,871	492,959
(C) 純資産総額(A-B)	13,150,597,686	16,476,749,980
元本	14,409,578,043	16,969,920,163
次期繰越損益金	△ 1,258,980,357	△ 493,170,183
(D) 受益権総口数	14,409,578,043口	16,969,920,163口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,126円	9,709円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第15期1,258,980,357円、第16期493,170,183円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、第15期0.9126円、第16期0.9709円です。

(注) 当ファンドの第15期首元本額は3,393,478,059円、第15～16期中追加設定元本額は16,232,439,079円、第15～16期中一部解約元本額は2,655,996,975円です。

○損益の状況

項 目	第15期	第16期
	2018年9月11日～ 2018年12月10日	2018年12月11日～ 2019年3月11日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 53,992	△ 65,542
受取利息	620	1,778
支払利息	△ 54,612	△ 67,320
(B) 有価証券売買損益	△ 917,034,728	980,309,146
売買益	4,239,675	1,142,684,964
売買損	△ 921,274,403	△ 162,375,818
(C) 信託報酬等	△ 40,837,654	△ 67,509,261
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 957,926,374	912,734,343
(E) 前期繰越損益金	—	△ 831,105,104
(F) 追加信託差損益金	△ 301,053,983	△ 574,799,422
(配当等相当額)	(11,943,010)	(17,178,981)
(売買損益相当額)	(△ 312,996,993)	(△ 591,978,403)
(G) 計(D+E+F)	△1,258,980,357	△ 493,170,183
(H) 収益分配金	0	0
次期繰越損益金(G+H)	△1,258,980,357	△ 493,170,183
追加信託差損益金	△ 301,053,983	△ 574,799,422
(配当等相当額)	(14,597,345)	(18,577,493)
(売買損益相当額)	(△ 315,651,328)	(△ 593,376,915)
分配準備積立金	—	81,629,239
繰越損益金	△ 957,926,374	—

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第15期	第16期
(a) 配当等収益(費用控除後)	0円	13,743,721円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円	67,885,518円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	14,597,345円	18,577,493円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	0円	0円
分配対象収益(a+b+c+d)	14,597,345円	100,206,732円
分配対象収益(1万口当たり)	10円	59円
分配金額	0円	0円
分配金額(1万口当たり)	0円	0円

<お知らせ>

該当事項はございません。

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未取配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未取利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

米国バイオ&テクノロジー株マザーファンド

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じる場合がありますのでご了承ください。

米国バイオ&テクノロジー株マザーファンド

第4期 運用状況のご報告

決算日：2019年3月11日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として、米国の取引所に上場されているバイオテクノロジー、IT、テクノロジー、先端技術製品、サービステクノロジー等の各分野の企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	米国の取引所上場株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		S & P 500指数 (円換算後)		株組入比率	株先物比率	純資産総額
	騰落	中率	(参考指数)	騰落			
(設定日) 2015年3月17日	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
	10,000	—	252,718.90	—	—	—	4,727
1期(2016年3月9日)	7,972	△20.3	222,646.96	△11.9	96.2	—	5,495
2期(2017年3月9日)	10,318	29.4	270,797.51	21.6	95.8	—	3,337
3期(2018年3月9日)	12,644	22.5	292,330.27	8.0	97.6	—	2,366
4期(2019年3月11日)	13,825	9.3	304,343.62	4.1	97.0	—	15,506

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) S & P 500指数 (円換算後) は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

S & P 500指数 (円換算後) は、当該日前営業日の現地終値に為替レート (対顧客電信売買相場の当日 (東京) の仲値) を乗じて岡三アセットマネジメントが算出しています。

(注) 株式先物比率 = 買建比率 - 売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		S & P 500指数 (円換算後)		株組入比率	株先物比率
	騰落	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2018年3月9日	円	%	ポイント	%	%	%
	12,644	—	292,330.27	—	97.6	—
3月末	11,898	△5.9	280,566.03	△4.0	94.8	—
4月末	12,473	△1.4	291,629.89	△0.2	96.0	—
5月末	13,046	3.2	296,099.89	1.3	97.2	—
6月末	13,278	5.0	300,260.91	2.7	98.6	—
7月末	13,555	7.2	311,116.63	6.4	95.4	—
8月末	14,531	14.9	322,199.50	10.2	96.7	—
9月末	14,798	17.0	330,942.98	13.2	89.0	—
10月末	13,014	2.9	303,834.67	3.9	92.9	—
11月末	13,476	6.6	310,653.63	6.3	95.9	—
12月末	12,190	△3.6	276,260.13	△5.5	91.3	—
2019年1月末	13,026	3.0	292,127.21	△0.1	96.5	—
2月末	14,218	12.4	309,591.17	5.9	94.8	—
(期末) 2019年3月11日	13,825	9.3	304,343.62	4.1	97.0	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2018年3月10日～2019年3月11日)



(注) 参考指数は、S & P 500指数 (円換算後) です。

(注) 参考指数は、期首 (2018年3月9日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・ 5 G (第5世代移動通信システム) 関連への投資拡大が予想される中、高成長が見込まれたソフトウェア・サービス株や半導体株の上昇がプラスに寄与しました。
- ・ 医療機器や医療管理システムに関わる企業の株価上昇がプラスに寄与しました。
- ・ 個別銘柄では、HUBSPOT INCやXILINX INC、MELLANOX TECHNOLOGIES LTD、VEEVA SYSTEMS INCなどの上昇がプラスに寄与しました。
- ・ 為替市場で、米ドルが円に対して上昇 (円安) したことがプラス要因となりました。

(主なマイナス要因)

- ・ 業績の先行き不安が高まった娯楽ソフトウェア株や半導体製造装置株の下落がマイナスに影響しました。
- ・ 個別銘柄では、ACTIVISION BLIZZARD INCやELECTRONIC ARTS INC、APPLIED MATERIALS INCなどの下落がマイナスに影響しました。

投資環境

(2018年3月10日～2019年3月11日)

米国株式市場は、2018年3月上旬から10月初旬にかけては、トランプ米大統領が輸入品への追加関税導入を表明したことを受けて、世界的に通商摩擦が起こるとの懸念が株価の抑制要因となる一方、米国において景気が好調に推移すると期待が続いたことからじり高基調で推移し、米国の主要指数が過去最高値を更新する展開となりました。しかし、10月上旬から12月下旬にかけては、米国の長期金利上昇に対する警戒感に加え、米中通商摩擦への懸念が高まったことなどから下落する展開となりました。2019年1月以降は、米連邦準備制度理事会（FRB）議長が柔軟な金融政策姿勢を示したことから投資家心理が改善し、期末にかけて反発する展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年3月10日～2019年3月11日)

当ファンドは、主として米国の取引所に上場されているバイオテクノロジー、IT、テクノロジー、先端技術製品、サービステクノロジーなどの各分野の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資を行います。また、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドから、投資候補銘柄に関する投資助言を受けます。

運用につきましては、2018年3月から7月にかけては、業績の停滞が見込まれるバイオ関連株の投資比率を抑制し、好業績が見込まれるソフトウェア・サービス株を中心とするポートフォリオを維持しました。その後、8月から9月にかけては、株価の上昇が顕著なソフトウェア・サービス株の利益確定売りを行う一方、割安感が高まったと判断してバイオ関連株を買い増しました。10月から期末にかけては、バイオ関連株については遺伝子治療や細胞療法に関わる銘柄、テクノロジー関連株については5G関連の投資増加が業績改善につながると予想される銘柄への選別を強化しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年3月10日～2019年3月11日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているS&P 500指数（円換算後）の騰落率を5.2%上回りました。詳細につきましては前掲の「基準価額の主な変動要因」をご参照ください。

今後の運用方針

（投資環境）

米国株式市場は、米中通商問題の動向や米国景気の先行き不透明感が材料視されることにより、目先は上値の重い展開になると予想されます。しかし一方で、米中通商協議を巡る警戒感が徐々に後退する中、FRBが中立的な金融政策を維持することにより景気回復を先取りする動きが次第に強まると考えられることから、中長期的には上昇基調が続くと予想されます。

（運用方針）

アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドからの投資助言を参考に、投資環境や業績動向などを勘案して銘柄選別を行い、組入れを行います。テクノロジー関連株に関しては、5G（第5世代移動通信システム）関連への投資拡大から恩恵を受ける半導体株やソフトウェア株へのウェイト付けを行う方針です。バイオ関連株については、遺伝子治療や細胞療法の分野で強みを持つ企業へのウェイト付けを継続するほか、好業績が見込まれるヘルスケア機器株を買い付ける方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2018年3月10日～2019年3月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 18 (18)	% 0.135 (0.135)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	4 (4) (0)	0.028 (0.027) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	22	0.164	
期中の平均基準価額は、13,291円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年3月10日～2019年3月11日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 13,721 (575)	千米ドル 136,406 (992)	百株 4,107 (120)	千米ドル 26,267 (2,033)

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2018年3月10日～2019年3月11日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	18,221,871千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	6,964,654千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	2.61

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2018年3月10日～2019年3月11日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
株 式	百万円 15,315	百万円 3,541	% 23.1	百万円 2,906	百万円 643	% 22.1

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額(A)	9,969千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額(B)	2,800千円
(B)／(A)	28.1%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはOKASAN SECURITIES TOKYO/JAPANです。

○組入資産の明細

(2019年3月11日現在)

外国株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ALLERGAN PLC	2	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
RED HAT INC	55	20	361	40,099	ソフトウェア・サービス
SALESFORCE.COM INC	68	240	3,721	412,893	ソフトウェア・サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	74	470	6,925	768,378	ソフトウェア・サービス
ALLIANCE DATA SYSTEMS CORP	—	60	998	110,739	ソフトウェア・サービス
UNITEDHEALTH GROUP INC	29	175	4,152	460,728	ヘルスケア機器・サービス
SERVICENOW INC	38	170	3,977	441,264	ソフトウェア・サービス
PALO ALTO NETWORKS INC	20	120	2,815	312,386	ソフトウェア・サービス
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A	60	400	4,581	508,328	ヘルスケア機器・サービス
ZENDESK INC	—	250	1,930	214,133	ソフトウェア・サービス
HUBSPOT INC	60	260	4,226	468,965	ソフトウェア・サービス
NEW RELIC INC	—	205	2,061	228,721	ソフトウェア・サービス
QIAGEN N. V.	—	550	2,138	237,316	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PURE STORAGE INC - CLASS A	—	200	389	43,181	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ACTIVISION BLIZZARD INC	100	80	336	37,305	メディア・娯楽
ALEXION PHARMACEUTICALS INC	25	335	4,310	478,281	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AMAZON.COM INC	7	28	4,538	503,517	小売
AMGEN INC	18	180	3,255	361,215	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
APPLIED MATERIALS INC	70	300	1,132	125,617	半導体・半導体製造装置
ATHENAHEALTH INC	3	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス

米国バイオ&テクノロジー株マザーファンド

銘柄	期首(前期末)	当 期 末			業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
BAIDU INC - SPON ADR	21	70	1,145	127,098	メディア・娯楽	
COGNIZANT TECH SOLUTIONS-A	28	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
CYPRESS SEMICONDUCTOR CORP	—	540	799	88,731	半導体・半導体製造装置	
ELECTRONIC ARTS INC	36	80	786	87,304	メディア・娯楽	
FACEBOOK INC-CLASS A	66	180	3,052	338,708	メディア・娯楽	
ALPHABET INC-CL A	13	65	7,474	829,329	メディア・娯楽	
ILLUMINA INC	10	180	5,301	588,205	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
LAM RESEARCH CORP	10	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
MARVELL TECHNOLOGY GROUP LTD	—	740	1,382	153,368	半導体・半導体製造装置	
BOOKING HOLDINGS INC	2	13	2,230	247,481	小売	
TEXAS INSTRUMENTS INC	25	120	1,258	139,610	半導体・半導体製造装置	
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	41	400	3,599	399,375	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
WESTERN DIGITAL CORP	20	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
INTUIT INC	—	190	4,671	518,327	ソフトウェア・サービス	
INCYTE CORP	—	330	2,709	300,670	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
RADWARE LTD	80	100	245	27,193	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
XILINX INC	40	280	3,321	368,535	半導体・半導体製造装置	
CADENCE DESIGN SYS INC	—	570	3,372	374,136	ソフトウェア・サービス	
CERNER CORP	20	200	1,109	123,043	ヘルスケア機器・サービス	
REGENERON PHARMACEUTICALS	10	100	4,026	446,729	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
VERTEX PHARMACEUTICALS INC	15	145	2,570	285,171	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
SKYWORKS SOLUTIONS INC	18	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
APPLE INC	76	180	3,112	345,318	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ADOBE INC	40	175	4,457	494,609	ソフトウェア・サービス	
CISCO SYSTEMS INC	137	870	4,443	492,960	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
BIOGEN INC	36	200	6,158	683,296	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
DEXCOM INC	—	40	572	63,569	ヘルスケア機器・サービス	
MELLANOX TECHNOLOGIES LTD	15	360	3,937	436,885	半導体・半導体製造装置	
INSULET CORP	—	30	276	30,632	ヘルスケア機器・サービス	
ALKERMES PLC	7	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
CAVIUM INC	10	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
BROADCOM INC	23	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
MEDIDATA SOLUTIONS INC	21	150	1,084	120,341	ヘルスケア機器・サービス	
PROOFPOINT INC	85	190	2,172	241,034	ソフトウェア・サービス	
PTC INC	40	260	2,299	255,180	ソフトウェア・サービス	
IONIS PHARMACEUTICALS INC	8	200	1,409	156,350	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ARENA PHARMACEUTICALS INC	—	70	318	35,322	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ULTRAGENYX PHARMACEUTICAL IN	—	340	2,134	236,824	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
PAYPAL HOLDINGS INC	—	240	2,296	254,803	ソフトウェア・サービス	
合 計	株 数 ・ 金 額 銘柄数 < 比率 >	1,582 44	11,651 50	135,585 —	15,043,228 <97.0%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年3月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 15,043,228	% 96.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	546,858	3.5
投 資 信 託 財 産 総 額	15,590,086	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (15,177,584千円) の投資信託財産総額 (15,590,086千円) に対する比率は97.4%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝110.95円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年3月11日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	15,590,086,252
コール・ローン等	419,564,402
株式(評価額)	15,043,228,533
未収入金	120,428,619
未収配当金	6,864,698
(B) 負債	84,054,413
未払金	84,047,171
未払利息	138
その他未払費用	7,104
(C) 純資産総額(A-B)	15,506,031,839
元本	11,215,841,477
次期繰越損益金	4,290,190,362
(D) 受益権総口数	11,215,841,477口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,825円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,3825円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は1,871,911,870円、期中追加設定元本額は10,302,231,660円、期中一部解約元本額は958,302,053円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

米国バイオ&テクノロジー株オープン

11,215,841,477円

○損益の状況 (2018年3月10日～2019年3月11日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	33,618,693
受取配当金	33,835,889
受取利息	5,612
その他収益金	31,989
支払利息	△ 254,797
(B) 有価証券売買損益	482,558,197
売買益	1,309,244,925
売買損	△ 826,686,728
(C) その他費用等	△ 2,058,657
(D) 当期損益金(A+B+C)	514,118,233
(E) 前期繰越損益金	495,001,736
(F) 追加信託差損益金	3,687,768,340
(G) 解約差損益金	△ 406,697,947
(H) 計(D+E+F+G)	4,290,190,362
次期繰越損益金(H)	4,290,190,362

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。